

平成27年度7月補正予算要求状況の公表に係る県民意見と反映状況

「平成27年度7月補正予算」要求状況に対し、県民の皆様からいただいたご意見の概要、それに対する県の考え方及び予算への反映状況は次のとおりです。

番号	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況	所管課
1	<p>今般、地方創生という言葉が日本全国で飛びかっていますが、その中でも、人口減少が進む中で小規模集落対策は全国共通の課題だと思います。</p> <p>県では市町村と連携し、地域の意見を聞いたり、直接出向いたりして、地元の声を取り入れながら事業を展開をしているので、これまでの対策を継続するだけでは、集落の機能を維持できないと思うので、新たな対策を講じてもらいたい。</p>	<p>小規模集落は10年後には現在の約2倍に増加する見込みであり、これまで以上に集落機能の低下が予想されますので、ご指摘のとおり、集落機能の維持に向けた一層の取組が重要となってきます。</p> <p>このため、県では、新たな取組として、地域に住み続けたいという住民の希望の実現に向け、地域の担い手が不足している地域において、その地域で活動する組織や団体が本来の活動に加え、広域的な活動ができるよう支援し、それによって集落を支えていくネットワーク・コミュニティづくりを推進していきます。</p> <p>今年度は12地域においてモデル的に実施し、来年度以降も引き続き拡大していきたいと考えています。</p> <p>こうした取組を市町村とも連携しながら実施し、小規模集落の維持・活性化を図っていきます。</p>	地域活力応援室
2	<p>子どもを預けるのに認可保育園の申込みをしましたが、希望の園に入れなかったため無認可の保育園を選びました。無認可園の保育の質の向上が必要だと思います。</p>	<p>認可外保育施設については、立入調査等の際に指導・監督を行い、保育の質の向上に努めているところです。</p> <p>それに加え平成27年度では、保育の質の向上や事故防止のため、認可外保育施設の職員を対象として、子どもの人権や保育内容に関する研修を実施したいと考えています。</p>	こども子育て支援課
3	<p>私の息子が5歳児健診の際に「発達障がい疑いがある」とお医者さんから言われました。</p> <p>その時は、まさか自分の息子がとショックで何も考えられませんでした。色々調べると早めに療育することが必要だと分かりました。</p> <p>実際に療育を受けるためにはどこに行き、どういった対応をとれば良いのでしょうか。</p>	<p>県では、5歳児健診等を実施する市町村への支援など発達障がいの早期発見の取組を推進しています。</p> <p>早期発見後にはできるだけ早期に療育につながるようなため、身近な地域で療育を受けられるよう、これまでに各障がい福祉圏域に1カ所以上の児童発達支援センターの整備を行ってきました。</p> <p>なお、これらの施設で実際に療育を受けるためには、まずは市町村の障がい福祉担当課に相談していただくことが必要です。</p> <p>平成27年度は、保護者の方が直面する「これからどうすればよいのか。」「どこに行ったらよいのか」といった悩み、疑問に対応できる、発達障がい児(者)の子育て経験を持つペアレントメンター(「メンター」はよき理解者の意。)を養成していくとともに、療育機関等の情報をわかりやすく提供していくなど、早期支援のための体制整備を進めることとしています。</p>	障害福祉課
4	<p>先日新聞で、働く女性の割合が63.6%となったという記事を見ました。今後も働く女性は増えると思います。</p> <p>そのためにも、県ではこれまで以上に、育児や介護などで女性が仕事を辞めないで働き続けられるような環境の整備を進めてもらいたい。</p> <p>また、企業にも、そのような環境の整備を働きかけてもらいたい。</p>	<p>県では、これまでも関係部局が一体となって、子育て環境の整備やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んできました。</p> <p>最近では、働きたい女性のための託児サービスを拡大したほか、「おおいたスタートアップセンター」を拠点とした創業支援などにも力を入れて取り組んでいるところです。</p> <p>また、今年度からは、「女性が輝くおおいた推進会議(仮称)」を新たに設置し、企業トップの意識改革のためのセミナーを実施するなど、経済団体と連携して女性が働きやすい環境づくりを進めていきます。</p> <p>さらに、女性のスキルアップや活躍を推進するため、企業から推薦を受けた管理職を目指す女性を対象とした「おおいた女性リーダーセミナー」の実施にも取り組みます。</p> <p>今後とも女性の就労や活躍を支援し、能力が十分に発揮できる活力ある大分県の実現に向けて努力してまいります。</p>	県民生活・男女共同参画課

番号	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況	所管課
5	<p>新卒者が大分県での就職を希望する際に働く場の選択肢が少ない。そのために東京などの都会で就職する人が多いのではないのでしょうか。</p> <p>魅力的な職場があれば都会に出ることもなくUターン希望者も増えると思います。魅力的な仕事の場を増やす事業が必要だと思います。</p>	<p>人口減少が進行する中、本県の未来を担う若者や女性の働く場を確保することが重要です。</p> <p>県では、これまでも製造業をはじめとする企業誘致に取り組んできましたが、補正予算ではコールセンター業など事務系の進出企業に対する補助制度を拡充し、これまで以上に積極的な企業誘致に取り組むこととしています。</p> <p>また、県内ものづくり企業への就職を促進するため、高い技術力やものづくりの魅力を紹介する動画を作成し、就職説明会や移住相談会などで広くPRします。</p> <p>働く場の選択肢を増やすことで、若者や女性の活躍や県内就職、UIJターンを促進し、本県の地方創生を実現します。</p>	企業立地推進課
6	<p>原発の危険性が問題となっており、自然エネルギーの活用が大切だと思います。</p> <p>再生可能エネルギーの接続保留などが懸念される中、太陽光発電以外の再生可能エネルギーの活用拡大に向けた取組が必要ではないのでしょうか。</p>	<p>本県では、豊かな自然環境を重要な地域資源と捉え、多様な再生可能エネルギーの導入促進やエネルギー産業の育成を推進しているところです。</p> <p>7月補正予算では、エネルギー自給率日本一の強みを生かし、地熱・温泉熱エネルギーの有効活用を促進するため、温泉熱の温度帯に応じた多段階活用（例：発電＋暖房・施設栽培）の提案や温泉熱活用施設の設備導入費の一部を助成することとしています。</p> <p>また、石油コンビナートから発生する副生水素の活用など、市場の成長が期待される分野の新たな取組を支援し、エネルギー関連産業の育成を図ります。</p>	工業振興課
7	<p>大分県では、畜産農家の戸数が減少していると聞きました。このままでは、「おおいた豊後牛」の供給量が減少するとともにブランド力の低下につながってしまうのではないのでしょうか。</p>	<p>畜産は本県の農業を支える基幹産業ですが、近年、飼料代の高騰や農家の高齢化などにより、肉用牛の頭数は大きく減少しており、大変危惧しているところです。</p> <p>このため、補正予算では、肥育・繁殖農家の緊急増頭対策や品質向上対策に取り組むこととしています。</p> <p>まず、子牛価格の上昇で素牛増頭が困難となっている肥育農家に対し、大分県畜産公社に肥育牛預託制度を創設します。また、繁殖農家に対しては、増頭時の育成費に対し助成するとともに、美味しさの基準であるオレイン酸に着目した品質向上の取組にも支援することとしています。</p> <p>こうした取組により、「おおいた豊後牛」のブランド力向上を図っていきます。</p>	畜産振興課
8	<p>近年、映画にも取り上げられているように、林業分野への若年層の就業が注目されていますが、林業の作業現場は過酷で、就業者の定着のためには労働環境の改善が必要だと思います。そのような対策はあるのでしょうか。</p>	<p>県では、これまでも林業の労働環境の改善と木材生産の効率化を図るため、高性能林業機械の導入に対し支援を行ってきました。</p> <p>補正予算では、機械化が遅れていた森林調査について、高精度に測定が可能な3Dレーザースキャナが開発されたことから、その導入に対し支援するほか、単調で過酷な肉体労働である草刈作業を自動で行う下刈ロボットの開発への支援を行うことで、さらなる森林作業の効率化、林業就業者の定着を推進していきます。</p>	林務管理課
9	<p>梅雨にも入り、大雨による河川の被害が心配です。最近では異常気象により、短時間に大雨が降るなどして洪水被害が出ていて、中津、日田、竹田市での豪雨災害は記憶の新しいところです。</p> <p>河川の工事を順次、進めているようですが、小規模な河川も含め、災害を未然に防ぐための対策をお願いします。</p>	<p>県内の洪水被害の防止・軽減のための対策については、沿川の土地利用状況やこれまでの被害状況、上下流の整備バランス等を踏まえ、緊急度の高い箇所から順次、河川改修や河道内に堆積した土砂の除去等を行っています。</p> <p>今後も、過去に甚大な被害が発生した地域の対策とともに、その他の地域における洪水対策事業についても効果的に推進し、災害に強い県土づくりに取り組みます。</p>	河川課
10	<p>大分スポーツ公園に新たな屋内競技施設の整備を知事が表明したと、6月11日の新聞で目にしました。</p> <p>関連予算の要求はなされていないように見えたが、利用する立場としてはできるだけ早い整備を希望しています。</p> <p>また、大分市にもアリーナ構想があると聞いています。県と市が連携して、県民が使いやすい有意義な施設となることを期待しています。</p>	<p>整備のスケジュールに関しては、ラグビーワールドカップでの利用等も配慮し、本年度は基本設計、来年度は実施設計を終了させ、平成29年度の着工、平成30年度中の竣工を目指すこととしています。</p> <p>また、大分市との連携については、県全体のスポーツ施設のあり方を検討する中で、大分市との役割分担等に関する協議をこれまで以上に行い、最善の方策を見出し、していく必要があると考えております。</p>	体育保健課